麻生学園小学校

校長室だより

NO. ２５　発行：校長　R８．１１／9(月)

お　知　ら　せ

○児童表彰

【令和８年度福岡県小・中学生科学研究作品展】

【科学奨励賞】「蚕のために私ができること～きれいな絹糸を作ろう　４年目～」

今村　文佳　さん（５年）

今村さんは、蚕の研究を続けて４年目になります。毎年素晴らしい研究を継続し、綺麗な絹糸も作って私達に見せてくれました。飼育すること自体がとても難しい蚕の研究に、毎年発展的な内容で取り組み、とても素晴らしいですね。受賞、おめでとうございます。

【令和８年度ペットスケッチコンクール】

本校からも毎年応募している「ペットスケッチコンクール」に今年は二人の子どもたちが入賞しました。約６，６００点の応募の中からの受賞です。１１月７日（土）に「天神中央公園貴賓館前広場」にて行われた「２０２６動物愛護フェスティバル」の中で表彰されました。二人の絵はペットとのかかわりが愛情豊かに描かれた素晴らしい作品でした。受賞、おめでとうございます。



芥　歩空 さん(3年生)
【福岡県知事賞】



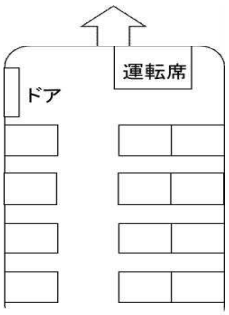
安達　麻紘 さん(3年生)
【財団法人　福岡県動物愛護センター理事長】

感じたことから

○「目配り・気配り・心配り」

１１月から、１年生と４年生に新しく転入してきたお友だちがいます。１年生が石原智雅（いしはらじあ）さん、４年生が加藤怜菜さん（かとうれな）さんです。これから、よろしくお願いしますね！

さて、二人のうちの４年生の加藤怜菜さんですが、１１月２日（月）の転入初日がスクールバスに乗っての社会科見学だったのです。きっと、緊張したことでしょう。ただ、４年生のみんながたくさん話しかけていて、にこやかにバスに乗り込むことができました。加藤さんは、一番最後に和佐野眞理恵さんと乗りました。今回のバスは自由席です。さて、加藤さんと和佐野さんがバスに乗ったところ、クラスの他の友達同士が先に右側の二人席に座っていたため、二人席は全部詰まってしまっていました。どこからともなく、「あっ、初日から一人になったら（一人席に座らせては）いかんよね」という言葉が聞こえてきました。みんな、どうしようかと思案していた時に、二人席に一緒に座っていた小笠原柊さんと北方杜和さんがさっと立ち、それぞれが左側の一人席に移動したのです。空いた二人席に「ありがとう」の言葉と共に和佐野さんと加藤さんは座ることができたのです。そして、二人はバスの中でたくさんお話しでき、仲良くなれたようでした。



「目配り・気配り・心配り」という言葉があります。

○目配り……周囲の状況や人の様子をよく観察し、異変や問題に気づくこと。（気づき）
○気配り……相手の立場や気持ちを想像して、先を考えてみること。（考え）
○心配り……相手を思いやる気持ちをもち、負担を減らすように動くこと。（行動する）

４年生のみんなのバスの中の姿は、まさしく、この「目配り・気配り・心配り」そのものだったように思いました。小笠原さんと北方さんが真っ先に動きましたが、他の子も同様の動きをする「心配り」ができる子ども達です。

学校生活の中の様々な場面で、こうした「目配り・気配り・心配り」に基づく配慮ができると、学校全体が温かな空気に包まれることでしょう。